



グループを横断した経営情報の分析・活用を支えるSAP Analytics Cloudによって、私たちのグローバル戦略は加速しています。

熊倉真太郎氏

株式会社LIXIL 参事 経理財務本部 企画管理部長

* 2020年3月の取材時点

山口寛子氏

株式会社LIXIL 経理本部 企画管理部 BI推進グループリーダー

肥後英人氏

株式会社LIXIL IT部門 基幹システム統括部 経理基幹刷新室 管理会計グループ

株式会社LIXIL

グローバルにおける経営判断のさらなる迅速化に向けて、経営情報管理基盤をSAP® Analytics Cloudで構築

2011年に国内の主要メーカー5社が統合して誕生し、その後は世界的ブランドを傘下に収めながら、日々の暮らしの課題を解決する水まわり・建材製品の分野でトップクラスの実績を誇る株式会社LIXIL。積極的なM & Aを通じたグローバル戦略の中で、**地域ごとに異なるSAPインスタンスを横断した経営情報の管理が課題**となっていた同社では、新たな統合管理基盤としてSAP Analytics Cloudを導入しました。すでに導入から約1年が経過した海外拠点での成果を受けて、2020年からは国内本社への導入も本格化していく考えです。

LIXIL

業種

製造業

事業内容

住宅用建材・設備機器の開発・製造・販売
(トイレ、風呂、キッチンなどの水回り製品および窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品)

年間売上高

1兆6,944億円(2020年3月期)

従業員数

約7万5,000人(グループ連結、2020年3月期)

本社

東京都江東区

URL

<https://www.lixil.com/jp/>

ソリューション

SAP® Analytics Cloud

活用分野

経営情報管理、分析



導入目的

- 異なるSAPインスタンスで管理される経営情報の効率的な連携
- LIXILグループを横断した新たな経営管理情報基盤の構築
- M & Aを通じて拡大する事業会社間のシナジー戦略の推進



SAP 選択の理由

- SAP Business Warehouse powered by SAP HANA® との高い親和性
- クラウドならではの導入のしやすさ、開発の効率化
- 実績データとの緊密な連携、柔軟なレポート活用



導入効果

- グローバルの拠点を横断したリアルタイムなデータ連携
- 膨大なデータを高速処理する優れたパフォーマンス
- 高度な意思決定を支援するダッシュボードの表現力

THE BEST RUN



グローバル市場での成長に不可欠な グループを横断した情報管理基盤

約270の事業会社から構成され、150以上の国と地域で商品・サービスを提供するLIXILグループにとって、M & Aによって新たにグループに加わった事業会社の情報システムといかにして効率的に連携できるかは、継続的な経営課題でした。

「これまでのM & Aによって、LIXILグループはドイツ、アメリカ、アジアの各リージョンで、それぞれ異なるSAP®インスタンスを運用することになりました。そのため、精度の高い意思決定を実現するためには、グループを横断してすべての経営情報を統合管理する新たな基盤を構築する必要がありました」と振り返るのは、参事 経理財務本部 企画管理部長(2020年3月の取材時点)の熊倉真太郎氏です。

新たな管理基盤では、当然ながら予算、見込み、実績などのデータをリアルタイムで登録・連携・分析できる機能が求められます。最終的にSAP Analytics Cloudの採用の決めた理由について、導入プロジェクトのリーダーを務めた経理本部 企画管理部 BI 推進グループリーダーの山口覚子氏は、次のように説明します。

「将来的に財務データ以外のあらゆる業務データを集約することを考えると、システムには膨大なデータを高速処理できるパフォーマンスも不可欠です。そうした観点からDWHには圧倒的な高速処理を実現するSAP BW powered by SAP HANAを、またデータのインプット/アウトプットおよび分析ツールには、複数製品を念入りに比較検討した結果SAP Analytics Cloudを採用することに決めました」

同様にIT部門 基幹システム統括部 経理基幹刷新室 管理会計グループの肥後英人氏も、ITの視点から「前提としてLIXILグループにおけるクラウドファーストのポリシーがあり、またすでにSAP BW powered by SAP HANAの採用が決まっていたことから、SAP製品同士の親和性、クラウドならではの開発スピードのほか、機能面では分析機能の豊富さやダッシュボードの柔軟性に大きな魅力を感じました」と振り返ります。

かつてない ダッシュボードの表現力、 トレーニング不要の シンプルな操作性

SAP Analytics Cloudは、重要な意思決定を行う上で不可欠な「ビジネスインテリジェンス」「予算計画」「予測分析」の3つの機能をワンストップで提供しています。LIXILでは現在、この中の「予算計画」「予測分析」の導入を海外の拠点で進めています。会計系の移行はすでに完了し、現在進めている

ロジスティクス系が完了すれば、予算登録や見込みの提出、分析のアウトプットが、すべてSAP Analytics Cloudで実行できます。

また、熊倉氏はSAP Analytics Cloudのユーザビリティも高く評価しています。

「たとえばダッシュボードひとつ見ても、かつて経験したことがないほどの表現力です。さまざまなグラフやデータのプロット形式などのオプションが用意されていて、必要な条件を設定するだけで、すぐにビジュアル化されたデータがアウトプットされてくるのには驚きました」

さらに、山口氏によると新システム導入では避けて通れないユーザー部門へのトレーニングも、従来とは比較にならないほど簡単だったといいます。

「SAP Analytics Cloudは非常にシンプルなパッケージなので、複雑な操作を新たに習得する必要はありません。初回の導入では、海外のユーザー部門に『これまで使っていたExcelのシートと見た目も変わらないので、今まで通りデータを入力してセーブボタンを押せば、東京の本社にそのまま送信できます』と説明しました。ワークショップなども開催せず、簡単なマニュアルを使った教育程度で十分でした」

新たなKPIも取り込みながら LIXILグループの成長をサポート

海外拠点への導入から約1年を経過しましたが、熊倉氏はSAP Analytics Cloudの真価が試されるのは2020年4月からの新年度だと



プロジェクトに参画した東京本社のメンバー

気を引き締めます。今後の活用について、現在は経営陣から新たに示されたKPIとして、ROIC (Return On Invested Capital 投下資本利益率)をSAP Analytics Cloudへ組み込むべく開発を進めているほか、マネジメント層から業務の現場でのデータ活用まで、ユーザーの用途に最適化されたダッシュボードを開発するなど、より使いやすい効率的な利用環境を充実させていく考えです。

「導入ではドイツ、アメリカ、アジアの各ファイナンスおよびITチームが緊密な協体制で作業を進めてきました。こうした一大プロジェクトを世界のLIXILグループがグローバルで一丸となって成し遂げたことも、未来の成長に向けた成果です。SAP Analytics Cloudによってグループを横断した経営情報の活用が可能になったことで、私たちのグローバル戦略を今後ますます加速していくと考えています」(熊倉氏)

データ分析・活用を原動力にさらなる成長を目指すLIXILグループのグローバル戦略を、SAP Analytics Cloudがこれからも強力に支えていきます。